

作成日 2025/06/18
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 白棒 67g
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
推奨用途 工業用一般
SDS作成上の留意点 本SDSは、原料および加工で生じる粉塵等についての情報となります。
整理番号 M250612

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肺)
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報 H335 呼吸器への刺激のおそれ
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害

注意書き
安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)

応急措置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

廃棄

施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報
化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	

酸化アルミニウム	55.0～70.0%	Al ₂ O ₃	(1)-23	不明	1344-28-1
ステアリン酸	20.0%	C ₁₈ H ₃₆ O ₂	(2)-608	不明	57-11-4
その他油脂	10.0%	非公開	非公開	不明	非公開

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、安静させる。

皮膚に付着した場合

水又は温水で洗い流した後、石鹸を使い洗い落とす。

目に入った場合

擦らず瞼を開いて清浄な水で洗い流す。痛みや残留物がある時は速やかに医師の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて擦らずに洗い流す。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、多量の牛乳や卵白などを飲ませた後吐き出させ、速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

水、泡沫、粉末、炭酸ガスなど

特有の消火方法

火元への燃焼源を絶ち、粉末消火剤などで風上から消火する。直接の注水は飛沫する恐れがあるので注意する。移動可能な容器は安全な場所に移す。防災活動に無関係の物は、風上の安全な場所に避難させる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具及び緊急時措置

作業の際には必ず保護具(保護フェイス、保護手袋、保護衣等)を着用する。風上から作業する。

環境に対する注意事項

回収・中和

河川や湖沼等へ排出されないように注意する。掃き集めて容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

研磨作業で生じる粉塵を吸い込んだり目に入れたりしないため、研磨作業場は排気装置を設け、粉塵マスクや保護メガネなど適切な保護具を着用して、出来るだけ暴露を避けるように努める。作業後はうがい、手洗いなどを行う。本品自身は自然発火性を有しないが、マグネシウムやアルミニウムを研磨した場合研磨屑(バフ屑)は水と反応して水素を発生し、空気と混合して発火することがある。

局所排気・全体換気

労働安全衛生規則第576、577条にあるように、法は粉塵をある濃度以上発散する作業場を有害な作業場と認識し、粉塵の発生抑制のための作業の方法又は機械の改善など必要な措置を講じることを事業者に義務づけている。

安全取扱い注意事項

強酸化生物質との接触や混合は避ける。

保管	保管条件	直射日光の当たらない、水のかからない冷暗所に保管する。
	容器包装材料	弊社より供給した容器を使用。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酸化アルミニウム	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³	設定あり
ステアリン酸	未設定	未設定	設定あり

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
酸化アルミニウム	未設定	未設定
ステアリン酸	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策

研磨作業により粉塵が生じるため、研磨作業場には集塵装置が必要である。
作業所の近くに、洗眼や身体洗浄設備を設けることが望ましい。

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスク等

手の保護

保護手袋等

眼の保護

保護メガネ等

皮膚及び身体の保護具

安全靴等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体

形状

固体

色

白色

臭い

無臭

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界 下限
／可燃限界

データなし

上限

データなし

引火点

180℃(その他)

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

水に溶解しない

n-オクタノール／水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度	2.1g/ml(20℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	軟化点:65℃

10. 安定性及び反応性		
反応性		室温で安定である
化学的安定性		室温で安定である
危険有害反応可能性		水との反応性はない
避けるべき条件		高温に加熱しない
混触危険物質		強酸化性物質
危険有害な分解生成物		不完全燃焼させるCO(一酸化炭素)が生じる

11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kgのため区分5とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。
	経皮	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	吸入	データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分3(気道刺激性)の成分合計が65%のため、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(肺)の成分が65%のため、区分1(肺)とした。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし

生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

この製品自体を廃棄しようとする、水質汚濁防止法の排水基準(生活環境項目)に許容濃度を定めており、廃棄物の処理及び掃除に関する法律の産業廃棄物に相当し、これらの関係法令を遵守する必要がある。

残余廃棄物	大量の場合: 処理を外部に委託する。産業廃棄物のマニフェストを交付する必要あり。 少量の場合: 焼却又は産業廃棄物業者に委託する。
-------	--

汚染容器及び包装	空容器は焼却又は産業廃棄物業者に委託して処分する。
----------	---------------------------

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	該当しない
------	--------	-------

UN No.	該当しない
--------	-------

Marine Pollutant	Not applicable
------------------	----------------

航空規制情報	該当しない
--------	-------

UN No.	該当しない
--------	-------

国内規制	陸上規制情報	労働法に定められている運送方法に従う。
------	--------	---------------------

海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
--------	-------------

国連番号	該当しない
------	-------

海洋汚染物質	非該当
--------	-----

航空規制情報	該当しない
--------	-------

国連番号	該当しない
------	-------

特別安全対策	運搬に際して、容器からの漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
--------	--

15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
---------	-----

毒物及び劇物取締法	非該当
-----------	-----

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	非該当
----------------------	-----

消防法	非危険物
-----	------

水質汚濁防止法	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
---------	------------------------

海洋汚染防止法	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
---------	-----------------------

外国為替及び外国貿易法	輸出入貿易管理令別表第1の16の項
-------------	-------------------

水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
-----	-------------------------------

じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
------	---------------------

16. その他の情報

参考文献

製造元メーカー提供資料

NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

化学品ドキュメント管理プラットフォーム(CDPF) SDS作成システム「ChemValue.AUTHOR」により作成

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものです。

また、注意事項は通常の実用性を対象としたもので、特殊な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。